

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（西脇東中学校区） 意見の概要

と き 令和2年11月2日（月）
ところ 上比延町公民館

テーマ：学校（教育）に期待すること、子どもの身に付けさせたいこと（力）

1 就学前児童保護者・学校関係者グループ

No	意見
1	対話力を身に付けさせたい。
2	通学時が不安（登下校時に児童1人になることもある）
3	スクールバスが必要 （仮に黒田庄地区と比延地区が統合すれば、すごく遠くなってしまう）
4	学童の在り方（昔は学童がなかった）今は学童があり、下校時に一緒に帰る人数が少なくて不安
5	学校選択制の導入はどうか。（人数の多い学校から少ない学校への移動促進 等）
6	学校規模はクラス替えのできる・できないにも関係する。
7	人数が少ないとチャンスが少ない。選択肢が限られてくる。
8	世代によって考え方が違う（若い世代とシニア世代との違い） シニア世代は地元愛というが…。
9	学習以外の学びの場でも、適正な子どもの人数確保は必要（部活動等の社会活動を行う上で、ある程度的人数は必要）
10	放課後に、家庭・地域で過ごす子どもの数が減ってきている。家に帰っても周りに人がいない。（近くに友達がおらず、放課後に友達と遊ぶのが学童ありきな現状）
11	農業（食べられるものを見分けられるような自然知識を身に付ける）
12	地元愛 （地域住民として、できれば東中・比延小・双葉小に存続してほしい想いも）

2 小中学校保護者・学校関係者グループ

No	意見
1	思考力（身に付けさせたい）
2	自分で考える力（身に付けさせたい）
3	本を読む習慣（身に付けさせたい）（家庭での指導、学校での取組の両方）
4	体力向上（鉄棒、雲梯ができない子どもが多い。）
5	安心・安全な学校
6	自分の意見・考えを他者に伝える力（自分で考えたことを相手に伝える力が弱い）
7	表現力・コミュニケーション力
8	フリートーク （双葉小での実践。児童が司会を務め、全校で1つの話題を話し合う。自分の意見を述べる能力が培え、コミュニケーション能力の向上に繋がる。）
9	社会で役立つ技術の習得（勉強）
10	パソコンの操作や、ソフトを使っての資料作成能力
11	地域の人との交流（トライやる以外での交流）昔は共同作業所の方々との交流があった。老人会・こども園等との交流が望まれる。
12	自分のキャリアステージに応じて求められる資質・能力を高めていく力が必要
13	専門性の高い先生によるオンライン授業の活用
14	ICT活用など、学校間連携による出前授業等の実施（上位学校からの指導）
15	自己有用感の醸成
16	判断力（不確定な時代における）
17	課題解決力（今後の社会は変化が激しい、対応できる力を育ててほしい。）
18	体験教育重視（体験から得るものは大きい、子ども一人ひとりの成長が大切、体験から自分もできたと感じることが大切）
19	特色ある学校（魅力ある学校）
20	小規模特認校に求めるものは何か。
21	地域の活力
22	学力順位の明確化（自分を正しく理解するために）
23	ノート検定（自主的家庭学習の習慣形成） （双葉小の実践。ノートに板書を写すのではなく、児童自ら考えまとめる。教師が評価し、他の児童も参考にする。）

3 地域代表・学校関係者グループ

No	意見
1	楽しい学校づくり（期待）
2	個性を伸ばす教育 個々の個性・特性を伸ばす学校教育を！
3	社会性を育む教育（子どもが減少する中で社会性を高めることは難しい）
4	子どものしつけ（学校・家庭・地域の連携）
5	家庭の躰が基本。 学校は子どもが初めて社会に触れる場でもあるので、先生の熱い心意気が大切
6	地域との連携を大切に。 地域に根差して活動できる力
7	学校が忙しい 先生が忙しい
8	30人学級
9	小規模特認校をどうするのか。
10	英語・プログラミング教育など、全てできなくてもよいのでは？
11	生きる力の育成 生き抜く力 たくましさ
12	あきらめない力
13	自分の考え・意見の確立
14	あいさつ
15	自己実現する力
16	グローバルな考え方を育む
17	友愛 人に対する思いやり 人を差別しない心 等